

平成 26 年度 第 1 回霞ヶ浦環境科学センター魚類定点調査を実施しました。

開催日時：平成 26 年 5 月 17 日（土） 8 時 30 分から 12 時 00 分まで

開催場所：霞ヶ浦湖岸（自然再生 B 地区～自然再生 A 地区北池）

自然再生 B 地区，弁天宮，新地点，自然再生 A 地区北池の 4 定点

参加者：12 名

今年度第 1 回の魚類定点調査は，昨年まで霞ヶ浦環境科学センターとセンターパートナーで行っていた調査に，県民の方にも参加していただき，霞ヶ浦の現状について学んでもらうことを目的に実施しました。

当日は好天でしたが，調査地点では，向かい風となり，投網を打つには少々難しい状況でした。ただ風は魚を岸に寄せることにもなるので，結果的には多くの魚類を調査・観察できました。なお，この時期はワカサギ，コイなどの禁漁期間であり，調査採捕のため特別採捕の許可を取っています。

調査定点は自然再生事業が実施された場所で，継続的に調査することで，自然再生地区における魚類層の傾向が見えて来るのではないかと考えています。

今日は向かい風でボラの幼魚の群れも風で岸際に寄せられたのか，昨年と同時期と比べて多く採捕されました。対照的にテナガエビ，スジエビは少ないものでした。

はじめて参加された方には魚類調査シートや水質検査を行って頂きましたが，すぐに手慣れた様子になり，調査の大きな力となりました。

調査というと難しく感じるかも知れませんが，どなたでも参加出来る内容であり，職員・パートナーも一緒に行いますので，ぜひ次回 7 月 12 日（土）の第 2 回魚類定点調査に御参加下さい。

調査結果は最終頁のとおりです。

参加者のみなさま，パートナーのみなさまお疲れ様でした。

環境活動推進課 福井正人



調査前に打合せを行います

昨秋完成した自然再生 B 地区です。





向かい風に負けず、
投網を打ちます。



採れた魚を調べて行きます。



弁天宮での調査



新地点での調査



透視度測定



自然再生A地区北池



センターに戻ってデータの集計を行いました。

平成26年度第1回魚類調査
取りまとめ票

平成26年5月17日

水質観測結果 測定結果の範囲			本日の調査メモ特記事項等	
	最高値	最低値		
時刻	9:00	10:00	第1回目の一般参加型定点調査であった。 投網経験者が2名おり、上手に投網を打っていた。特にボラの幼魚が多く採捕された。 エビ類が少なかった。 (文：新関パートナー)	
天候	晴れ	晴れ		
水深 (cm)				
気温℃	19.0	20.0		
水温℃	19.9	21.0		
透視度cm	14.5	17.0		
DO (mg/l)				
pH	8.4	8.4		
COD				
EC	27.0	27.6		
採集魚種 名前 (尾数)	自然再生B地区	弁天宮	新地点	自然再生A地区 北池
	ボラ (13)		ボラ (70)	ボラ (2)
	モツゴ (8)	モツゴ (1)	モツゴ (3)	モツゴ (10)
		タモロコ (6)	タモロコ (1)	
		ヌマチチブ (1)		ヌマチチブ (3)
		テナガエビ (2)		テナガエビ (3)
		カマツカ (1)		
		シラウオ (2)		
			ワカサギ (5)	
			スジエビ (1)	スジエビ (2)
				ギンブナ (2)
				コイ (1)
				タリクハラタコ (13)